



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月29日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊東 浩治 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	67,117	3.2	17,772	△18.5	20,300	△10.9	14,593	△11.6
2023年3月期第3四半期	65,064	53.0	21,805	52.1	22,796	57.4	16,502	64.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 17,096百万円(△2.6%) 2023年3月期第3四半期 17,548百万円(75.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 356.86	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	403.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 153,111	百万円 125,308	% 81.8
2023年3月期	150,508	114,502	76.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 125,308百万円 2023年3月期 114,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 155.00	円 銭 155.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				114.00	114.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	△5.1	20,500	△28.5	21,500	△27.8	15,500	△25.8	379.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	42,000,000株	2023年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,104,656株	2023年3月期	1,112,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	40,892,547株	2023年3月期3Q	40,892,570株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「スラムダンク」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は671億17百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は「聖闘士星矢 The Beginning」の棚卸資産の評価損を計上したことにより、177億72百万円（同18.5%減）、経常利益は203億円（同10.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は145億93百万円（同11.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、4月に「聖闘士星矢 The Beginning」、6月に劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos《前編》」、劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos《後編》」、9月に「映画プリキュアオールスターズF」、10月に「デジモンアドベンチャー 02 THE BEGINNING」、11月に映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」を公開しました。「映画プリキュアオールスターズF」、映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」が好調に推移したものの、前年同期に公開し、大ヒットした映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、「ONE PIECE FILM RED」、「THE FIRST SLAM DUNK」の反動により、大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ひろがるスカイ！プリキュア」、「ワンピース」、「逃走中 グレートミッション」、「キボウノチカラ～オトナプリキュア'23～」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「おしりたんてい」、「いきものさん」の7作品を放映しました。前年同期と比較して放映作品数が減少したことから、若干の減収となりました。

コンテンツ部門では、「ONE PIECE FILM RED」のブルーレイ・DVD発売により、若干の増収となりました。

海外映像部門では、前年同期に好調に稼働した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の海外上映権販売の反動減があったものの、「ワンピース」の海外配信権販売、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売が好調だったことから、増収となりました。

その他部門では、国内の映像配信権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は264億64百万円（前年同期比9.6%減）、セグメント利益については、「聖闘士星矢 The Beginning」の棚卸資産の評価損を計上したこと等により、48億69百万円（同42.9%減）と減収減益となりました。

②著作権事業

国内著作権部門では、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったものの、「ワンピース」のゲーム化権販売、商品化権販売が好調に稼働したこと等から、ほぼ横ばいとなりました。

海外著作権部門では、「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働したものの、「デジモン」シリーズ、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったこと等から、減収となりました。

この結果、著作権事業全体では、売上高は301億29百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は143億27百万円（同8.8%減）と減収減益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の劇場物販及びEコマース、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズのショップ事業が好調に稼働したこと等から、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は84億32百万円（前年同期比139.6%増）、セグメント利益は14億73百万円（前年同期比619.6%増）と大幅な増収増益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したことから、大幅な増収となりましたが、イベント事業全体にかかる販売費増等により大幅な減益となりました。

この結果、売上高は24億31百万円（前年同期比105.0%増）、セグメント利益は16百万円（同65.9%減）と増収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年10月24日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年1月29日付公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,909	72,366
受取手形及び売掛金	24,975	22,797
有価証券	50	114
商品及び製品	4,812	1,880
仕掛品	8,417	8,656
原材料及び貯蔵品	107	110
その他	5,451	8,727
貸倒引当金	△21	△22
流動資産合計	110,702	114,631
固定資産		
有形固定資産	8,392	8,232
無形固定資産	1,184	1,154
投資その他の資産		
投資有価証券	12,599	13,956
その他	17,633	15,138
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	30,229	29,091
固定資産合計	39,806	38,479
資産合計	150,508	153,111
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,763	18,621
未払法人税等	5,334	1,577
賞与引当金	547	283
その他	6,505	5,690
流動負債合計	35,150	26,173
固定負債		
役員株式給付引当金	158	155
退職給付に係る負債	225	394
その他	472	1,079
固定負債合計	855	1,629
負債合計	36,006	27,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867	2,867
資本剰余金	3,409	3,409
利益剰余金	103,298	111,548
自己株式	△807	△754
株主資本合計	108,768	117,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,794	3,585
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	2,941	4,653
その他の包括利益累計額合計	5,734	8,237
純資産合計	114,502	125,308
負債純資産合計	150,508	153,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	65,064	67,117
売上原価	35,320	39,230
売上総利益	29,744	27,887
販売費及び一般管理費	7,939	10,114
営業利益	21,805	17,772
営業外収益		
受取利息	58	650
受取配当金	720	279
持分法による投資利益	65	—
為替差益	—	1,543
その他	391	113
営業外収益合計	1,235	2,588
営業外費用		
支払利息	14	0
持分法による投資損失	—	36
投資事業組合運用損	2	18
為替差損	223	—
その他	4	4
営業外費用合計	244	59
経常利益	22,796	20,300
特別利益		
投資有価証券売却益	—	50
特別利益合計	—	50
税金等調整前四半期純利益	22,796	20,351
法人税、住民税及び事業税	6,636	5,537
法人税等調整額	△342	220
法人税等合計	6,293	5,758
四半期純利益	16,502	14,593
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,502	14,593

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	16,502	14,593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△680	722
繰延ヘッジ損益	△8	0
為替換算調整勘定	1,749	1,712
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	68
その他の包括利益合計	1,045	2,503
四半期包括利益	17,548	17,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,548	17,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び定款の一部変更について)

当社は、2024年1月29日開催の取締役会において、株式の分割及び定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割により株式1株当たりの投資金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2024年3月31日(日曜日)(実質的には2024年3月29日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記録された株主の所有する普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	42,000,000株
今回の分割により増加する株式数	168,000,000株
株式分割後の発行済株式総数	210,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	840,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	2024年3月1日(金曜日)
基準日	2024年3月31日(日曜日)(実質的には2024年3月29日(金曜日))
効力発生日	2024年4月1日(月曜日)

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり四半期純利益	80円71銭	71円37銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。